

## 平成24年第9回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成24年12月6日～12月11日)

---

### 1 坂本心次（顕政会）

#### 1 ぬくもりのある地域の公共施設について

- (1) 市民とともにつくってきた公共施設の取り扱いについて問う。
  - ア (仮称)周南市公共施設再配置計画(案)の今後の進め方は。
  - イ 命ある限り施設を大切に使うべきではないか。

#### 2 心待ちにしている地域の教育方針について

- (1) いじめに対する基本的考え方は。
- (2) 人やものを大切に作る心がいじめ撲滅につながるのではないか。

---

### 2 土屋晴巳（新誠会）

#### 1 西部道の駅の運営・経営等について

- (1) 西部道の駅の管理運営体制・組織について問う。
  - ア 13団体からなる組織の管理運営形態は、任意団体とするのか、法人とするのか。どのような運営形態を考えているのか。
- (2) 収支予想について問う。
  - ア 人件費(常勤とパート)を含めた一般的経費の年間の支出額を想定しているのか。
  - イ 収入は販売手数料とテナント料が2本柱である。支出を賄うがための無理な手数料率・テナント料設定であってはならない。販売手数料・テナント料設定についての市の基本的考えは。
- (3) 出荷体制等について問う。
  - ア 管理運営団体が明確になった。今後、安定的かつ継続的な供給を担保する意味で、具体的な出荷体制・出荷量計画等を検討する必要があると考えるが、市の考えは。
  - イ 県の農業大学校は出荷者の一つである。安定的に出荷されており、購買者から大変人気がある。西部道の駅オープンに向けて、より一層の出荷協力を求めてはと思うが、市の考えは。

#### 2 海拔表示の促進について

- (1) 昨年の東日本大震災の津波を教訓に、市の指定避難場所に海拔表示が設置されているが、その進捗状況は。
- (2) 指定避難場所に全ての地域住民が一度に避難するわけではない。「高台へ避難する」となると、安心な避難のためにも高台への避難路途中に何らかの海拔表示が必要と考えるが、市の考えは。
  - ア 海岸に接している自治会等に予想される津波の高さを周知しているか。また、対象地域の住民意識や避難路への海拔表示に対するニーズを把握しているか。
  - イ 具体的な計画はあるのか。

---

### 3 長嶺敏昭（参輝会）

#### 1 （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）について

- (1) 公共施設の統合・再配置は必要な施策であるが、市民が納得できる心の通った計画であり、行政サービスの向上が見て取れなければならないが、どうか。
- (2) 広い周南市、それぞれの地域の歴史があり、気づかなくても蓄積された地域のDNAがある。シセツ・カルテには表れない住民の心のよりどころを見逃してはならないが、どうか。
- (3) 総合支所を支所に格下げすることは許されないと考えるが、どうか。
  - ア 個別計画を立てるといって、どこが主導するのか。
  - イ 諸課題をクリアして別施設への統合はあっても、部長級の総合支所長を廃するような組織・機構改革、縮小は住民の理解は決して得られないと考えるが、どうか。
  - ウ 現状のワンストップサービスがさらに進化することが施設統合の最大の説得力だが、どうか。
  - エ 企画総務委員会のミニコンでの意見の多くが支所機能の発展、権限分散だが、どう受けとめるか。

#### 2 山口県との防災協定と県総合庁舎について

- (1) 大地震、大津波などの災害時に山口県との危機管理連携体制は構築できているのか。
- (2) その際に耐震構造の県総合庁舎の活用と位置づけはどうなっているのか。
- (3) 山口県の財政事情の悪化や権限移譲が進めば、県総合庁舎の活用も考えられ、新庁舎全面建てかえは大きな無駄となる。市民窓口重視のバリアフリーでコンパクトな建てかえにとどめるべきだが、どうか。

#### 3 消費税増税で行政運営に与える影響について

- (1) 段階的とはいえ、10%になると財政的にも行政運営は厳しくなるのではないかと。
- (2) 今から対策を検討・実施しなければならないが、どうか。（公共事業、収益事業、指定管理など）

---

### 4 清水芳将（新誠会）

#### 1 中心市街地の衰退をとめる施策の必要性について

- (1) 近鉄松下百貨店の撤退への対応状況は。
  - ア 対策プロジェクトチームの動向は。
  - イ 撤退後の店舗対策と中長期的な街の将来像を、具体的に提示できるよう検討するとの説明があったが、進んでいるのか。
  - ウ 活性化協議会との連携を密にして、市街地全体のビジョンを描くための予算措置が必要なのではないか。
- (2) 徳山駅周辺デザイン会議について
  - ア 公共施設を念頭に、建物内に配置する機能を議論しているが、駐車場は有料という説明はなぜか。
  - イ 駅ビル跡地の検討にだけ固執せず、東西の駐車場・駐輪場用地との一体的な検討がな

できないのか。

- (3) 中心市街地という土地の高度利用ができる場所を活性化して、建物の固定資産税という  
税収を効率よく上げるという認識が、本当にあるか。

## 2 学区の適正について

- (1) 現状の学区割り、不便を強いているとの指摘がある。
- ア 現状の学区は適正との認識なのか。
  - イ 審議会の開催状況と議題は。
  - ウ 学区を変えるという発想の前に、選択できるエリアの指定や拡大が必要ではないか。

---

## 5 田村勇一（新誠会）

### 1 地域密着型介護老人福祉施設の選定について

- (1) 市外法人を選定した理由は。
- ア 市内法人の応募がありながら、市外法人を選定した理由は。
- (2) 地域密着型介護老人福祉施設の主たる目的は。
- ア 選定における地域密着型とは何か。
- (3) 選定後の市の対応について問う。
- ア 地域住民への説明責任は。
  - イ 選定後、意識調査はしないのか。
  - ウ 選定法人への市としての指導は。

### 2 スポーツ基本法の制定及びスポーツ基本計画について

- (1) 基本法及び基本計画をどのように展開していくのか。
- ア スポーツの運営、指導のあり方に問題はないのか。
  - イ スポーツの魅力と健康維持促進を図るべきでは。
  - ウ 青少年への課題は。

### 3 公民館運営について

- (1) 今後の運営方針は。
- ア 現状組織での問題点はないか。
  - イ コミュニティ主体（民間主導）の展開は。

---

## 6 岩田淳司（アクティブ）

### 1 市の固定資産台帳はやはり早急に整備すべきでは

- (1) 新庁舎問題、新駅ビル問題、西部道の駅問題、旧徳山自動車学校跡地を含む周南緑地の  
整備問題、公共施設の再配置計画問題、長田町住宅団地など不動産の一元管理、各出資団  
体解散などに伴う損金計上などなど、さまざまな政策や施策推進における予算支出のため  
には、周南市が自分自身の潜在能力を把握する、つまり「身の丈」を知る必要がある。そ  
の一步目として、やはり市の固定資産台帳（不動産カルテ）の整備は必要であると考え、  
市長の考えを求める。
- ア 近年建てられた施設についてはある程度整備された台帳は存在すると考えたいが、全  
くはないのか。あるのならばいつぐらいからのものがあるのか。

イ この台帳を整備するとすればどれぐらいの予算が必要か。また、整備にかかる時間はどれぐらいか。

ウ 全ての不動産でなくても、シセツ・カルテ掲載施設や耐震工事が必要な施設などに特化してでも整備を進めるべきではないか。

エ 台帳を整備することで「財務書類4表」などへその内容を反映させ、周南市の財務分析及びその後の市政改善に積極的に活用していくということももっと考えるべきではないか。

---

## 7 小林雄二（刷新クラブ）

### 1 雨水排水の処理計画と対策について

(1) 現在、周南市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画（案）が改定中だが、雨水の排水対策も快適な生活環境にとって重要な課題である。河川域ごとの処理計画をつくり、積極的な対策と取り組みを望むものであるがどうか。

### 2 地域防災計画について

(1) 周南地区は産業構造として、石油化学コンビナートという特徴を持っているが、大震災や災害に伴う地域防災計画の見直しはどの程度実施されているか。

(2) 石油化学コンビナートの取り扱う危険物や物質について、どこがどの程度把握しているか。

### 3 学校通学路への安全・安心対策について

(1) 通学路への問題点や改善点について掌握されているが、どの程度解決しているか。

(2) 防犯灯の設置も通学路の安全・安心対策として可能とすべきではないか。現状の設置基準の改善はできないか。

---

## 8 友田秀明（周南会）

### 1 新南陽市民病院について

(1) 今年4月に整形外科医が1人離職された。医師の確保の見通しと、今年度の収支見込みはどうなのか。

(2) 病院改革プランが今年度で終了する。次年度以降の計画において

ア 今後確実に進む高齢化社会に対応した在宅医療や訪問看護の推進、中山間地域等への出張診療を初め、さまざまな施策を考える必要がある。そのためには、医師の増員が必要であると思うが、どうか。

イ 病院の経営安定のためにも健診など機能拡充に伴う病院の拡張が必要と考えるが、いかがか。

### 2 市長の目指す方針は何なのか

(1) 市長就任後、今日までを振り返ってみて、公約の達成度はどのくらいと考えているのか。

(2) 公共施設の再配置計画案を、このまま進めるつもりなのか。特に、熊毛・鹿野・新南陽地区の市民が納得する計画だと言えるのか。

(3) 旧徳山自動車学校跡地購入及び周南緑地基本計画は、本当に周南市にとって効果があるのか。

- (4) 近鉄松下百貨店の撤退に対して、想定でき得る事前の対応はしたのか。また、発表後の対策はどうなのか。
- 

## 9 岸村敬士（参輝会）

### 1 小中学校におけるいじめ対策について

- (1) 文部科学省は来年度から5年間で、いじめの予防や早期発見に取り組む「いじめ対応」教諭1,600人を全国の小中学校に配置する方針を出した。いじめが小さなほど早く解決できると思う。本市もこの対策に手を挙げるべきだと思うが、どうか。

### 2 明治19年建立（126年前）の旧沼城小学校の校舎の買い取りについて

- (1) 沼城小学校旧校舎で明治19年建立（126年前）の校舎を、昭和27年に解体し民間に払い下げた。校舎は移築され、所有者のもとで管理されている。ぜひ市が買い取って移築し、再利用をしてはどうか。

### 3 沼城小・須々万中の小中一貫教育について

- (1) 旧都濃、向道地区の子供は学校の統廃合により、沼城小学校、須々万中学校に通っている。北部の中心校であり、保護者も教育熱心である。そこで、両校をモデルとして小中一貫教育を行ったらどうか。学力の向上はもちろん、中1ギャップも解消できる。全国的にはまだまだ少ないが、メリットは大きいがどうか。

### 4 北部地区のコミュニティバス（乗り合いタクシー）の運行について

- (1) 旧徳山の北部地区の中心は須々万になっている。買い物や医療や銀行など全て須々万である。小学校や中学校も須々万の学校へ統合され、一体感が生まれつつある。しかし、大道理地区は防長バスで須々万に来る便がなく、大向地区は早朝1便のみである。北部地区全体の一体感を醸成するため、コミュニティバスの運行がどうしても必要だがどうか。

### 5 国道315号の栄谷に新たなトンネルの建設を

- (1) 国道315号は山陽と山陰を結ぶ大動脈であり、市街地と北部地区を結ぶ大変重要な路線である。ところが、山頂にある杉ヶ峠隧道は完成以来四十数年経過しており、幅員も狭く、歩道もない大変危険なトンネルである。さらに、積雪時には国道315号は大変渋滞する。それを解消するためにも新たなトンネルの建設が必要だ。以前、山口県がトンネルは必要だ、計画もあると言っていたが、市も北部地区発展のため、国に強く要望をしていくべきではないか。
- 

## 10 田村隆嘉（刷新クラブ）

### 1 支え合い、互いに助け合うまちづくりについて

- (1) 地域コミュニティ充実の取り組みについて
- ア 現在の公民館運営の課題、問題点は。
  - イ 地域参画型公民館の運営において、メリット・デメリットをどのように認識しているか。
  - ウ 地域コーディネーターの配置と育成の方針は。
  - エ （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）の内容について

(フ) 地域コミュニティの拠点施設の機能、役割をどう考えていくのか。

(イ) 施設を地域に譲渡する目的は。また、どのような運営状態を想定しているのか。

## 2 住みやすいまち、住み続けたいと思うまちづくりについて

### (1) 住居表示整備事業について

ア 住居表示整備事業に対する市の方針は。

イ 進捗状況と今後の見通しは。

### (2) 高齢者福祉の取り組みについて

ア ひとり暮らし高齢者の安心安全対策は。

イ 地域福祉活動を今後どのように展開するのか。

---

## 1 1 福田文治（参輝会）

### 1 新庁舎建設について

(1) アンケート結果をどのように基本構想・基本計画に生かすのか。

### 2 （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）について

(1) 来年3月末に策定すると言われているが、周南市の将来のまちづくりを決定する重要な計画である。各担当所管との調整はできているのか。また、各地区、利用者等への説明会を開催するのか。

### 3 近鉄松下百貨店閉店について

(1) 「近鉄松下対策プロジェクトチーム」の活動状況を問う。

(2) 市長は定例記者会見で、「中心市街地の明かりを消すわけにはいかない。市民の皆さん安心してください」と言われているが、跡地に入店される確信があるのか。また、何らかの構想を持っているのか。

### 4 防災行政無線について

(1) どのような設備をいつまでに設置するのか。

---

## 1 2 相本政利（公明党）

### 1 ごみ再資源化の取り組みについて

(1) 「循環型社会への構築」をさらに進めるために、以下の4点を伺う。

ア ごみの分別を進めてきた成果について

(フ) ごみ排出量と再資源化量の推移は。

(イ) ごみ排出物の内訳は。

(ウ) 最終処分量（埋立量）の推移は。

(エ) ごみ処理経費（1人当たりの処理経費や歳入・歳出費の推移）は。

イ ごみ分別の啓発・周知方法はどのように進歩しているか。また、分別の状況はどうか。

ウ 市民からの分別の問い合わせ件数及びその内容・対応は。

エ 「小型家電リサイクル法」の取り組みについて

(フ) 現状の小型家電製品の取り扱いは。

(イ) 小型家電リサイクル法施行後の取り組み方法（対象品目・回収方法・周知方法等）は。

## 2 介護保険制度の改善について

- (1) 介護保険での福祉用具購入費及び住宅改修費の受領委任払い制度の導入は検討できないか。

---

## 1 3 金子優子（公明党）

### 1 子育て支援について

- (1) 「子ども・子育て関連3法」の成立を受けて
  - ア 周南市版子ども・子育て会議の設置の考えは。
  - イ 子育てに関する事業計画策定に向けた実態調査をしていく考えは。
  - ウ 準備組織の設置の考えは。
- (2) 現在、2人以上で同時に保育所へ入所する場合、保育料が原則1人分のみの負担となっているが、認可外保育施設の利用者にも適用できないか。
- (3) (仮称)周南市公共施設再配置計画(案)では、夜市・桜田・湯野幼稚園の3園が統合との案があるが、具体的な方向性を伺う。

### 2 期日前投票について

- (1) 期日前投票の宣誓書の簡素化はできないか。
- (2) 期日前投票所の増設はできないか。

---

## 1 4 青木義雄（参輝会）

### 1 県との連携・協力について

- (1) 県にあっては16年ぶりに知事交代が実現した。この機会に、県との連携や協力についての考え方を問う。
  - ア 身近な行政として市と県との協調は重要である。特に新知事の示されたビジョンと整合性を図りつつ、市政に反映させるなど、さらに積極的な姿勢で取り組むべきではないか。
  - イ 新知事に対して、どのような要望を出しているのか。
  - ウ 特に市議会でも提出した山口県福祉医療費助成制度の一部負担金の撤回を、新知事に強く求めるべきではないか。
  - エ 周南市で開催されたやまぐち総合ビジネスメッセは、周南市の産業構造や特性に非常にマッチしている。さらなる連携や協力で定着を図ってはどうか。
  - オ 職員間の活発な交流を図っているか。

### 2 徳山駅以外の駅について

- (1) 徳山駅周辺整備事業は周南市の特性を最大限に活用する基軸の事業であるが、ほかにも多くの市民が利用する駅が幾つかある。それに対する基本的な考え方を問う。
  - ア 利用状況は把握しているか。
  - イ 合併後に徳山駅以外の駅に対して、どのような事業を展開してきたのか。予算規模もあわせて問う。
  - ウ 駅それぞれで様々な課題があると思うが、把握はしているか。
  - エ 市民が利用する現状に合わせて、計画的に対応していく考え方があるのか。

---

## 1 5 金井光男（公明党）

### 1 （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）について

#### (1) 再配置計画策定におけるコンパクトシティー構想という視点について

ア 中心市街地及び各市街地に都市の機能を集めるコンパクトシティーの形成を通じた「歩いて暮らせるまちづくり」という視点からの再配置が必要ではないか。

イ 中心市街地におけるパークタウン・ストリート（歩車共存社会実験）は、各施設という点を、線や面として捉えたものと認識しているが、「歩いて暮らせるまちづくり」の取り組みとして、その成果をどう分析しているか。

#### (2) 公共施設の長寿命化保全計画とセットという視点について

ア シセツ・カルテを活用した各施設の整備レベル、維持管理状況の課題抽出による長寿命化のための中・長期的計画策定及び推進体制の整備という視点が必要ではないか。

イ 特に教育施設においては、文部科学省の「学校施設老朽化対策ビジョン（仮称）」において、「事後保全」型管理から「予防保全」型管理への転換を求めている。既存ストックの状況と将来の利用状況等を見きわめつつ長寿命化を図ることやスペースの有効活用、規模の適正化を図るなど、施設のマネジメントを行うという視点が必要ではないか。

### 2 西部道の駅について

#### (1) 1次産業振興という視点の強化について

ア 地域ブランド開発の進捗状況を伺う。

イ 担い手育成に主力を置いた「6次産業化」の進捗状況を伺う。

---

## 1 6 長谷川和美（周南会）

### 1 市民サービスは安心安全か

#### (1) 食について

ア 高齢者・障害者の配食サービスは。

イ 学校給食センターの建設基本計画の方向性は。

#### (2) 住について

ア 公民館、支所の地域コミュニティの拠点施設に転用とは。

イ 子供関連施設の統廃合は。

#### (3) 医について

ア 巡回診療等の新たな医療体制の整備とは。

イ 新南陽保健センターの機能移転とは。

---

## 1 7 伴 凱友（周南会）

### 1 （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）について市長がイメージするこれからの周南市の全体像を問う

(1) 現在の15カ所の支所はその機能について全部転用となっている。現在の支所機能は何かあるのか。その機能はどうなるのか。

(2) 新南陽、熊毛の総合支所は支所に格下げとなるが、どれだけの機能と人員を残すのか。

- (3) コアプラザかへの統合するという鹿野総合支所の機能は何があるのか。その支所機能と人員はどれだけ残すのか。

## 2 都市計画税についての住民説明会の取り組みを問う

- (1) 6月議会での都市計画税の課税に係る議案審査において、企画総務委員会では、住民に納得のいくよう十分説明をすること、という附帯決議を行った。これに従って、11月に熊毛地区の4カ所で市長参加の説明会が開かれたが、参加状況はどれほどであったのか。
- (2) 住民参加のため、住民に向けてどのような働きかけをしたのか。

## 3 熊毛地区の防災訓練は今後どうするか

- (1) 熊毛地区を管轄する消防署は光地区消防組合であり、警察は光署である。9月議会の一般質問で、熊毛住民と消防団、光警察署と消防署の合同訓練の必要性を訴えたが、市として、その後どのような検討をしたのか。

## 4 学校の印刷機の賃貸借契約について

- (1) 学校の印刷機の賃貸借契約で1円入札があり落札した。1円で賃借でき市の支出は安く済んだという問題ではないはず。今後の対応を問う。

---

# 18 福田健吾（顕政会）

## 1 市長の考え方を問う

- (1) 市長選時に掲げた公約の実現はどうか。
- ア さまざまな状況を考慮することは重要だが、「本当に今必要なものか見直します」と言ってきた。全て本当に今必要なものであると判断したのか。
- イ 浮いた財源を本当に必要な施策に使うとあるが、何に使うのか。また、使ったのか。
- (2) (仮称)周南市公共施設再配置計画(案)を見直す気はあるか。
- ア 案が示され、3月には策定することのことだが、公約にも入っていない新庁舎ありきでの計画がつけられることに疑問を感じている市民は多いので、しっかり説明するべきでないか。
- イ 維持管理費の削減は重要なことであると認識しているが、判断基準に恣意的要素が入る余地があるのをどう捉えているのか。
- (3) 近鉄松下百貨店の跡地利用の考え方を問う。
- ア 民間のことと置いて放置しておくわけにはいかないと思っている。行政としてどこまで踏み込むのか。
- イ 従来どおりのやり方に限界を感じている。各種団体とどのように連携を図っているのか。さまざまな手法をあらゆる角度から取り入れるべきではないか。
- ウ 周南市外の人間に発案させ活用する方法を見出すことを、支援も含めどう考えているのか。

---

# 19 吉平龍司（公明党）

## 1 本市の財政運営と行政改革への取り組みについて

- (1) 国、県や本市のさまざまな諸動向における財政の収支見通し情勢の不透明さがあるようだが、前年度決算も踏まえた新年度予算の位置づけは。

- (2) 平成25年度予算編成方針に当初予算編成手法や行財政構造の転換とあるが、その具体策について問う。
- (3) 「行財政基盤の健全化」に向けた財源確保と経常経費等のコスト効率化・縮減具体策の行政改革を問う。

## **2 省エネ・エコ社会について**

- (1) 公共施設全般の電力節電対策の取り組みは。
- (2) リース方式導入による全防犯灯のLED化を検討される考えは。
- (3) 市維持管理街路灯の省エネ（LED）電球化の推進は。

## **3 防災拠点等の防災・減災機能について**

- (1) 周南市耐震改修促進計画において、防災拠点となる公共施設等の耐震化進捗率は。
- (2) 公共施設等の耐震診断や改修実施状況は。
- (3) 本庁災害対策本部と上下水道局や消防本部・建設部等との初動体制の確保、防災センター的機能の拠点が求められると思うが、現状はどうか。

---

## **20 古谷幸男（顕政会）**

### **1 徳山駅周辺整備事業について**

- (1) 徳山駅ビルの建てかえ計画並びに駅周辺整備事業と駅周辺商店街の活性化について関連性を問う。（公共施設再配置との関連を含む。）

### **2 西部道の駅について**

- (1) 指定管理者の考え方について問う。（指定管理料など）

### **3 リサイクルプラザについて**

- (1) 火災以後、管理運営（選別体系を含む。）は万全か。
- (2) 火災保険について現状を問う。

---

## **21 尾崎隆則（顕政会）**

### **1 周南市誕生10周年記念事業について**

- (1) 市民実行委員会の企画事業と市の企画事業の違いは何か。
- (2) スケジュール（案）では、25年1月から12月までを見込んでいるが、記念式典以外の事業を考えているのか。
- (3) これまで旧2市2町で行われていた記念式典は、どれくらいの経費がかかっていたか。

### **2 いわゆるごみ屋敷の適正管理について**

- (1) 10月30日の全員協議会で空き家等の適正管理に関する条例（素案）が報告されたが、市内ではいわゆるごみ屋敷についても苦情が出ている。条例を制定するのであれば、一緒に制定するべきだと考えるが、所見を伺う。

### **3 熊毛地区の都市計画税について**

- (1) 10月31日から11月8日まで、八代地区を除く熊毛地区4カ所の公民館で、都市計画税導入の説明会があった。勝間地区での意見の中で、「導入する都市計画税を全て借金の返済に回すのではなく、熊毛地区の道路維持管理や新たな都市計画事業に充てる」と答えているが、間違いはないか。

---

## 2 2 中村富美子

### 1 (仮称)周南市公共施設再配置計画(案)について

- (1) 議会は、財政問題調査特別委員会の要望決議の中で、市民、議会と協議をして策定することを決議している。市民との協議の場を持つべきではないか。
- (2) 総合支所について
  - ア 新南陽・熊毛・鹿野総合支所の職員数はどう変わるか。
  - イ 一定の権限は継続できるのか。(例えば、道路修繕の予算等)
- (3) 周辺部切り捨てと思うがどうか。
- (4) 市民サービス低下は必至だが、合併時の市民との約束をどう考えるか。
- (5) 計画案は市長が一生懸命やりたいと言われる行財政改革そのものだが、このようなことをする前に、他事業の見直しをしなければいけないのではないか。(新駅ビル建設や周南緑地のプール建設等)

### 2 職員の時間外勤務手当等について

- (1) 平成15年度から各年の職員数と時間外勤務手当等はどのように推移しているか。
- (2) 時間外勤務手当等について
  - ア 予算はどういう内容で編成されるか。
  - イ 請求しにくい状況はないか。
  - ウ サービス残業はないか。
- (3) 時間外勤務手当等について職員の意見を聞く必要があると考える。調査を行ってはどうか。

---

## 2 3 島津幸男

### 1 住民サービスについて

- (1) 公共料金の値上げラッシュについて問う。
  - ア 値上げの項目と総額は。
  - イ 1世帯当たりの値上げ負担額は。
  - ウ 市民の理解をどう得るのか。
- (2) 職員の給料カットについて問う。
  - ア 国家公務員、県職員との給与水準の対比及び1人当たりの最高額は。
  - イ 各種手当の実態は。(その名称と手当額)
  - ウ 退職金の総額と1人当たりの最高額は。

### 2 (仮称)周南市公共施設再配置計画(案)について

- (1) 65の休廃止が周辺部しわ寄せになっていないか。
- (2) 既存施設の長寿命化と有効活用を再検討しないか。住民要望は無視か。
- (3) この計画は、来年3月末に強行か。
- (4) 庁舎のあり方に関するアンケートについて問う。
  - ア 「建設ありき」の設問に問題は。
  - イ アンケート結果の考証は。

- ウ 83億円から94億円に建設費アップ発表をアンケート実施直後に行った理由は。
- エ 1平方メートル当たり40万円は適正か。
- オ 耐震構造化で78億円の根拠は。

### 3 市民への説明責任と情報公開について

- (1) 高負担、低サービスの影響をどう考えるか。また、市民への説明責任は。
- (2) 「コンパクトシティー」構想は維持か。
- (3) 議会に対する政治姿勢を問う。

---

## 24 井本義朗（アクティブ）

### 1 （仮称）周南市公共施設再配置計画（案）について

- (1) 市民活動の場となる施設の廃止は、その活動を阻害することがないように配慮が必要ではないか。
- (2) 廃止、休止となる施設は、ほとんどが利用率が低く費用対効果が望めないとあるが、運用方法などに問題があるとは考えないのか。
- (3) これだけ多くの公共施設がその機能を全うしていないとして廃止される中で、新駅ビルはまだ機能が決まっていないにもかかわらず、建設されることが決まっているのは矛盾を感じるがどうか。
- (4) 総合支所や支所の方向性について、行政機能が一極集中し、周辺地域の行政サービスが著しく低下すると懸念する声も聞かれる。先日の全員協議会では「各支所で市民の相談等を受けとめ対応できる体制を構築する」との説明があったが、本来なら今回の再配置計画と市民が充実を実感できる行政サービスの体制をセットでもっとわかりやすく示すべきではないか。
- (5) 今回の再配置計画は市長の目指すコンパクトシティーが形をなしたものと考えてるが、コンパクトシティーは一方で周辺地域を切り捨て、過疎化や地域の活力の低下に拍車がかかるなどの問題も叫ばれている。この問題をどう考えているか。
- (6) 各施設の今後を考える上で地域別、年齢層別の正確な人口調査や予測が非常に重要だが、現在の分析では十分とは言えないのではないか。

### 2 選挙事務の改善について

- (1) いよいよ衆議院議員総選挙が始まる。この選挙に臨むに当たり、市は今年5月の市議選の混入票などの問題を乗り越え、市民が選挙事務に対して信頼できるものであることを示すことはとても重要だと考える。そこで以下に問う。
  - ア 新たな選挙管理委員会をスタートさせ、衆院選の公示、16日に投開票と慌ただしい新体制の船出となるが、しっかりとした選挙事務の体制はできているのか。
  - イ 10月30日の全員協議会で示された開票事務の改善策は「市議会議員選挙にかかわらず、その他の選挙においても活用する」とあるが、今回この改善策が活用できるのか。